



基本方針③ 人と人がつながる

1. 既存の20行政区のつながりを維持する
「行政区交付金」「地域づくり事業」・・・2,662万円
「村民ふれあい集会」・・・600万円
2. 自治会等に対して支援する
「自治会支援事業」・・・1,800万円
「自治会役員・組織運営交付金」・・・1,051万円
3. 帰村後のコミュニティ拠点となる
公民館建替建設事業・・・11億2,546万円
4. 宿泊体験館きこりの改修工事・・・1億6,897万円

基本方針④ 原子力災害をのりこえる

1. 除染後の放射線量をガンマカメラで測定する
「環境放射線モニタリング測定事業」・・・1億1,920万円
2. 村民の住宅環境を整備する
「帰還再生生活道路整備事業（昇口舗装）」・・・1億円
3. 住民生活の安定や地域産業再生など、復興への細やかな取り組みを支援するため
「までの村 陽はまた昇る基金元金積立金」・・・1億円
4. 村の復興拠点と位置付ける「深谷拠点エリア整備事業」・・・3億5,126万円
5. 避難生活での安心・安全な防犯対策への取り組みとして
「防犯カメラシステム設置事業」・・・9,097万円
6. 「飲料水安全確保対策事業」・・・1億6,849万円
7. 「モニタリングポスト設置事業」・・・3億7,485万円
8. 「大谷地団地住宅建設事業」・・・2億6,699万円
9. 「地上デジタル放送再送信整備事業」・・・8,643万円

基本方針⑤ までのブランドを再生する

1. 避難先での農業再開を支援する
「園芸産地復興支援対策事業」・・・1,907万円
「被災地域農業復興総合支援事業」・・・7,997万円
2. 除染後の農地保全を促進する
「営農再開支援事業」・・・6,206万円
3. 松川仮設住宅内直売所「なごみ」の運営を支援する
「直売所なごみ運営事業」・・・1,693万円



平成27年度の主な事業と予算

今年度の主な事業とその予算額を復興計画の5つの基本施策などにに基づき紹介します。

(金額は千円単位を四捨五入し、万円単位にしています。)

基本方針① 生命(いのち)をまもる

1. 放射線を正しく理解して、正しく怖がる
「放射線リスクコミュニケーション事業」・・・540万円
2. 仮設住宅などの健康づくりを推進する
「仮設住宅入居高齢者等健康管理事業」・・・679万円
3. 16才以上の村民を対象とした
「総合健診事業」・・・5,265万円
4. 村のホールボディカウンタ検査機器を活用する
「内部被ばく検査事業」・・・992万円
5. 「飯舘分署建替建設事業」・・・2億3,917万円

基本方針② 子どもたちの未来をつくる

1. 子どもたちの安全な教育環境を整備する
「幼・小・中学校仮設校舎整備」・・・7,459万円
2. 避難児童・生徒の学校給食、学用品、保育料等を支援する
「被災児童生徒等就学支援事業」・・・5,669万円
3. スクールバス不足分の民間バス6台借り上げの
「避難児童生徒等通学支援事業」・・・8,640万円
4. 復興を担う子どもたちを国内外に派遣する
「未来への翼事業、沖縄までの旅事業」・・・2,084万円
5. 福島市内に設置・運営する
「子育て支援センターの運営事業」・・・1,547万円

